

「第4期利根町地域福祉計画(案)」に関するパブリックコメントの結果

- ・意見募集期間：令和8年1月13日から令和8年2月10日
- ・ご意見提出者：1名
- ・ご意見件数：20件

	ページ・該当箇所	ご意見等	回答案
1	5ページ・持続可能な地域づくり～SDGsの視点～	「持続可能な地域づくり」のために重要である「SDGsの視点」とは何でしょうか。この「地域福祉計画」の中で一貫してつらぬかれる「SDGsの視点」とはなんのでしょうか。それがぼやけてははっきり見えてきません。それと17個のアイコン、小さすぎて老眼にはつまびらかには見えません。	本計画においてSDGsに言及している趣旨は、国際社会において共有されている「誰一人取り残さない」という理念が、地域福祉の基本的な考え方と親和性が高いことから、地域福祉を取り巻く社会動向として位置付けている視点です。 また、SDGsのアイコン表記を拡大しました。
2	8ページ・4.計画の位置づけと計画の期間 (1)計画の法的根拠 上から12行目「また、再犯防止推進計画は～」	4.(1)上から12行目「また、再犯防止推進計画は～」 「地域福祉計画」の中で「再犯防止計画」を取り入れるようになって、まだ日も浅いので「えっ？なぜ？」と思う人もいると思います。ここでは、なぜ「地域福祉の中で再犯防止」なのか？を説明した方がいいと思います。私はSDGsの「誰一人取り残さない」という理念が貫かれていると思うのですが。	再犯防止は刑事司法の問題にとどまらず、住居、就労、福祉、地域とのつながりといった生活基盤の再構築を通じて初めて実効性を持つ課題です。地域福祉計画に再犯防止の視点を位置付けることは、「誰一人取り残さない」という理念のもと、地域で生活するすべての人を包摂する福祉の役割を明確にするものと考えられます。上記の趣旨については、計画書P72【利根町再犯防止推進計画】の中に含めて記載しております。
3	33ページ・(5)社会福祉協議会に期待すること グラフの下の最後の4行「利根町社会福祉協議会に対しては～」	アンケート結果だけを見るだけでも社会福祉協議会に対する期待は、前回のアンケート結果よりも広範で大きなものになっています。今、社協では人員の確保に苦労しているように推察しています。町としてのさらなるバックアップをお願いします。	貴重な御意見ありがとうございます。ご指摘を踏まえ、社会福祉協議会と連携して検討してまいります。
4	35ページ・下から2行目 「住民同士がお互いに助け合える範囲については～」	「住民同士がお互いに助け合える範囲については」アンケート結果を見る限り、どんなに広く見ても「行政区まで」であろうと思われます。「互助」が機能するためには「行政区」の力量を高める必要があると思います。「区長」が「有償ボランティア」の単なる「行政連絡員」に随してはならないと思います。自治会組織を持たない行政区はなおさらの事です。	貴重な御意見ありがとうございます。ご指摘を踏まえ、検討してまいります。

5	<p>39ページ・3 第3期計画の 振り返り (1)成果指標の状況(アンケート調査)表</p>	<p>表の「成果指標1」から「成果指標6」まで、すべての項目で目標値に達せず、2020(令和2)年調査よりも低くなっています。数字を上げていくことは、なかなかむずかしいと思いますが、例えば「成果指標4」の「ボランティア活動に参加したことがある」については、「気軽に参加したくなる」仕掛け、コロナ禍で注目された「ナッジnudge理論」の考え方を取り入れられないでしょうか。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、検討してまいります。</p>
---	---	---	---

6	<p>42ページ・4 課題の整理と今後の方向性 (1)多世代が参加しやすい場づくり 福祉に関する情報発信について</p>	<p>ページ中ほどの、ピンクの網かけの部分「交流の場は一定数あるものの参加者が固定しており」「参加しやすいきっかけづくりが求められています」その「きっかけ」の糸口を見つけることが一苦労です。なぜなら「参加しない理由」などいくらでも見つけられますから。その理由を超えて参加するためには、世代によって「きっかけ」が異なってきます。ある程度の高齢者にとっては、子ども、自分よりも高齢な高齢者の存在などがきっかけとなるような気がします。志を同じくする者が集まり、活動を通して交流していく。そんな交流はコミュニティにとっても重要なはずで。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、検討してまいります。</p>
7	<p>44ページ・(4)囲みの中の 下 福祉に関する情報発信の工夫が課題となっています。</p>	<p>「地域の人ともっと交流したい」と考えている人は一定数存在するにもかかわらず、行動に移せていない理由として、「きっかけがない(28.4%)」、「参加できる場所がわからない(19.7%)」両者を合わせると48.1%。半数近くの人が情報が「あり」、「きっかけ」となる事実を認識できれば「行動に移す」ことが考えられます。検討すべきものです。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、検討してまいります。</p>
8	<p>47ページ・第3章 計画の将来像 1 将来像(基本理念)上から 11行目</p>	<p>上から11行目「本計画においてもSDGsの目標意識し」について。SDGsの目標というのは17の目標(ゴール)のことなのか、それとも必要に応じてゴールを使っていくのか。以後のページでのSDGsの扱い方を説明しておいた方がいいと思います。また「目標意識し」の「目標」と「意識」の間に「を」を入れた方がいいと思います。</p>	<p>本計画においても、SDGsが掲げる17の目標を踏まえつつ、地域福祉と関係の深い目標を中心に、その理念や考え方を意識しながら取り組んでいきます。また、P47 11行目「SDGsの目標を意識し、」に修正いたしました。</p>
9	<p>48ページ・基本目標3 地域への愛着と福祉活動をつないでいくまち 3行目「地域への思い」</p>	<p>3行目の「地域への思い」は「基本目標3」の「地域への愛着」以上に広い「思い」を指しているのでしょうか。「愛」だけでなく「憎しみ」も? 「不満」も? 「愛着」としておいて、だからこそそれが福祉活動の「きっかけ」になり、活動のエネルギーになる。私はそう思います。</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、検討してまいります。</p>
10	<p>53ページ・第4章 施策の展開 基本目標1 交流が広がり生きがいを持って暮らせるまち</p>	<p>「基本目標1」の下に関連するSDGsのゴールのアイコンが(3.4.11.17の4つ)ありますが、老眼にはそれぞれのアイコンに書かれた文字が小さくて読めません。もうちょっと大きくはできませんか。5ページの右下の17のアイコンも数字がやっと読める状態です。</p>	<p>SDGsのアイコン表記を拡大しました。</p>

11	54ページ・1行目から【町民や地域のみなさんに期待すること】 町民【自助】の2番目 地域【共助】	「〇子ども会やサロン活動に参加します」とありますが、現在の「子ども会」の状況はどうなっているのでしょうか。布川地区では子どもの減少により、「子ども会」がなくなってしまいました。実は、子どもを中心に大人たちが集い活動するというのは、大切な営みでした。子どもを中心とした大人の活動を町単位のものとして再編できないでしょうか。	貴重な御意見ありがとうございます。ご指摘を踏まえ、検討してまいります。
12	56ページ・2-2 交流の場・活動の場・居場所づくり【町の主な取り組み】の最後「孤独・孤立対策」	「孤独死」が社会問題として取り上げられるようになって、随分時間がたちます。人間「孤独」な状況になるのは、どうにもならないような気がします。重要であるのは「孤独」ではあっても決して社会的には「孤立」していない状況、常に社会とつながっている状況をつくっていくことだと思います。孤立させないために何ができるか？	貴重な御意見ありがとうございます。ご指摘を踏まえ、検討してまいります。
13	58ページ・基本目標2 基本方針1 「日常の見守りと防犯活動の推進」 1-1【町の主な取り組み】	「民生委員・児童委員」の見守り活動について、説明しておくべきだと思います。いざというとき、「民生委員・児童委員」へ相談しようと思えるために必要だと思います。私は69歳のひとり暮らしの高齢者であり、軽いとはいえ精神障害者でもあります。どのように「見守り活動」をしているのでしょうか。	貴重な御意見ありがとうございます。ご指摘を踏まえ、検討してまいります。
14	60ページ・基本方針2 災害など緊急時の助け合い 2-1 地域防災体制の強化【町の主な取り組み】の最後	【町の主な取り組み】の最後の行「救急医療情報キット(命のバトン)の配布」とありますが、思い当たるものがありません。大切なものだと思うのですが。	民生委員児童委員と連携し、70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に「ひとり暮らし高齢者台帳」を整備するとともに、救急医療キット(命のバトン)を配布し、ひとり暮らし高齢者の見守りを行い、緊急時等にも備えております。
15	61ページ・基本目標3 地域への愛着と福祉活動をつないでいくまち 施策体系の表1～	「1 地域への愛着と福祉に対する意識の向上」 ○地域への愛着+福祉に対する意識 これがストレートに2及び2-1の「地域活動・ボランティア活動」に結びつくとは思えない。その間に「きっかけ」が必要になると思います。そのきっかけをつくる「取り組み」(施策)を考えようと思います。それはまた「生きがい」を見つけられるものでもあります。簡単ではありません。	貴重な御意見ありがとうございます。ご指摘を踏まえ、検討してまいります。

16	62ページ・【町民や地域のみなさんに期待すること】右側地域【共助】最後の○「自分の子や孫、地域の子どもなどに町の文化や～	「自分の子や孫、地域の子どもなどに町の文化や歴史、産業などのことを伝えます」まさに、そうした地道な活動が次の世代、次の次の世代に対して今を生きている、こうしてパブコメを書いている自分の責任でもあるのだらうと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。
17	68ページ・【利根町成年後見制度利用促進基本計画】の【基本方策】方策1①包括的なネットワークの構築 本文4行目 最後の「中核機関」	「中核機関を設置しました」とありますが、その「中核機関」の名称と、どこに設置されているのでしょうか。表の「中核機関の4つの機能」という題名も、具体名を書いた方がいいと思います。	「福祉課に設置」と修正します。
18	68ページ・【基本方策】方策1 ②市民後見人の育成及び担い手の確保 1行目、2行目	1行目の「協議会」というのは、具体的には「何協議会」なのでしょうか。2行目の「コーディネートを行う中核機関」とは具体的に何でしょうか。①で設置済みという「中核機関」とは別物のように読めるのですが。	司法・医療・福祉などの専門職団体、地域の関係機関を含めた協議会となります。 中核機関については同様のものとなります。 「権利擁護支援会議の事務局として」に修正します。
19	76ページ・(6)社会福祉協議会の役割および(7)行政の役割	地域福祉にとって「利根町社会福祉協議会」が重要な役割を担っていると理解しています。昨年9月末、旧文小の「とねふれあいプラザ」へ行き、年会費を納めてきました。「すこやか交流センター」にあったときより、広い部屋になりました。「人員の少なさ」をあらためて感じました。町の強力なバックアップが必要です。	貴重な御意見ありがとうございます。 ご指摘を踏まえ、社会福祉協議会と連携して検討してまいります。
20	77ページ・2 計画の進行管理 (2)計画の評価と見直し 本文1行目「定期的にその実績を把握」	「定期的にその実績を把握し」とありますが、どのくらいの期間で実績を把握し、分析・評価・改善・見直しをするのでしょうか。その「めど」を書いていただけるとありがたいのですが。	令和11年度に令和8年度～10年度の実績を把握し、効果検証等を行う予定です。